

「国際法順守を再確認」

議長声明、南シナ海念頭

【ハノイ＝大西智也】M）首脳会議は26日、議長声明などの成果文書が採択し、閉幕した。中国アジア欧州会議（ASE）が実効支配を進める南シ

ナ海情勢などを念頭に「航行と上空飛行の自由を確保し、国際法の完全な順守を再確認した」と強調した。ミャンマー情勢については「深い懸念」を表明し、国軍に対し民主的な政治体制に戻すよう訴えた。

首脳会議には中国の李克強（リー・クォーチャン）首相も出席した。議長声明では東南アジア諸国連合（ASEAN）の一部の国と中国が領有権を争う南シナ海問題への直接的な言及は避けたが、緊張を高める動きについて「首脳が懸念を表明した」と記した。岸田文雄首相は中国の覇権主義的な動きを念頭に「力や威圧に頼らず共通のルールにのっとり、対話と協力で国家間の問題を解決することが重要だ」と述べた。